

2010
せんせのたまご

小崎直美

菅原聡美

伏原朋代

橋本今日子

川満利江子

木田絵梨

谷川仁美

手島かおり

西 知里

瀧口 遥

上赤秋奈

坂田和泉

澤田有希

柴田那菜

白瀬

浩司

四、絵本『どろんこハリー』の構造

ここでは、同様の方法で、絵本『どろんこハリー』〔注⑩〕の物語がどのような箱に入っているかを捉えてみることにする。この絵本の対象は、〈読んであげるなら 四才から〉、〈じぶんで読むなら 小学校初級むき〉となっている。この絵本を選んだのは、先の『ごんぎつね』と同様、動物を主人公にしていること、さらに、読者である子どもたちが主人公のハリーという犬に自分を投影しつつ、作品世界に入り込んでいくと考えられることによる。

反復型（X↓X）構造の事例として斎藤隆介『モチモチの木』（小学校三年）をかつて取り上げた〔注⑩〕ことがあるが、『どろんこハリー』は変化型（X↓Z）構造の事例である。すなわち、作品世界の出来事に着目するならば、風呂に入るのが大嫌いで外へ逃げ出したハリーが、遊んで汚れて帰宅した自分を家族に認識してもらうために、みずから風呂に飛び込んで体を洗われるまでが描かれている。

ハリーが隠し、やがて掘り出す（ブラシ）は、この作品の重要な道具であり、アイテム自他を媒介する小さなぎっかけ、あるいは互いに理解し合い認め合うための言葉や表現などを象徴するものだと言えよう。体を洗うための（ブラシ）を庭に埋めて隠す行為はハリーが嫌なことや苦手なことを避け、逃げていいるさまを、その（ブラシ）を掘り出す行為は相手（の与えるもの）を受け入れ、自身を認めてもらおうとするさまを、それぞれ表している。ちなみに、物語の冒頭は、次のようになっている。

ハリーは、くろいぶちのある しろいぬです。なんでも すきだけど、おふろにはいることだけは、だいきらいでした。／あるひ、おふろに おゆをいれるおとが きこえてくると、ブラシをくわえて、にげだして…… うらにわに、うめました。それから、そとへ ぬけだしました。

外ではしやぎまわるハリーの姿は、遊んで汚れる行為の反復の中で描かれる（①・①・②・③・④）。だが、あ

二〇一〇年八月六日 ゴール前の踊り子

完徹して、人発の『国概』以外の成績票をなんとか一六時過ぎに提出する。なお、この講座については七つの小レポート課題と定期考查答案があるため、月曜朝まで待ってもらったことになった。

ほんで、今日の夕刻、幹事さかたが『せんたま』第一原稿提出のゴールをようやく切った。本人には言うたけども、作家について、あるいは同じ作家の他の作品について調べたことなど、四年制大学の卒論やったら取り入れて書くことになる。

それにしても、会長にしたい、副幹事たきぐちといい、さかたといい、ゴールまであと三〇センチという状況で、ゴールテープを一気に駆け抜けるのかと思いきや、ゴール手前でいきなりダンスを踊り始めるようなアホどもである。

まあ、結果的に、ゴール出来たさかい、ええねんけどな。

いよいよ前期『せんたま』ダービーも、副会長しばたを残すだけとなった。木〇センセの講座の単位はゲットできたようだが、最初に言うておこう。わしには尻を見せでも通用せえへんどつ。原稿が出来ひんことには、ゴールさせへんさかい。うーむ。なんか、尻ネタも、もう飽きてきたな。

そんなこんなで、さかた・しばたの原稿直しに付き合つとつたら、二〇時半を軽く回つてもうた。

その後、JRに飛び乗り、明日からの保育士試験受験のための宿泊先に到着したのは、二二時半を過ぎてのことである。

てゆーか、思ってたより、めっちゃ速かつたつちゆうねん。

二〇一〇年八月八日 久々の受験生

今日で二日間にわたった保育士試験が終了した。会場は純真短期大学。両日とも九時半開始〜一六時終了で、一日に四科目ずつ計八科目という時間割である。

初日は、『社会福祉』、『児童福祉』、『発達心理学&精神保健』、『小児保健』。二日目は、『小児栄養』、『保育原理』、『教育原理&養護原理』、『保育実習理論』。

バタバタしとつたさかい、ほとんど準備のできぬまま受験したが、とりあえず今年は初日の四科目の合格をめざし、卒業生たちが置き去りにしていった『社会福祉』と『児童福祉』、『発達心理学』のテキストにザツと目を通した程度。

まあ、ほとんど素^すの状態の受験ながら、解答速報で確認すると、『児童福祉』と『小児保健』と『保育原理』が合格、『社会福祉』と『教育原理&養護原理』が一点不足で不合格、『小児栄養』が二点不足で不合格、あとはポロポロで不合格、という結果やった。

一点不足ゆえ、いきなり五科目合格もあり得たわけやけど、まあ、そんなタナボタ的な期待をしても、しゃあない。とりあえず、当初の目標に一科目届かへんかったが、これで来年はあと五科目の受験と相成^{あひな}った。次回はしっかり準備していくことにするばい。

ところで、男女いろんな年齢層の受験生が居^おってんけど、みんな真剣な面持^{おも}ちで臨んどつた。教室で過度に緊張しとつたりとか、三〇分の休憩時間も必死で参考書を開いとつたりとかな。

受験票と筆記用具と弁当しか持ってへんかったゆえ、わしは六

続きは
完成版で
お楽しみ下さい。